

会 議 名	平成28年度第3回港区3R推進行動会議
開 催 日 時	平成28年11月1日(火) 午前10時から11時45分まで
開 催 場 所	港区立エコプラザ3階会議室A
委 員	(出席者) 鬼沢座長、福吉委員、菊地氏(森委員代理)、木原委員、 関根委員、山田委員、大駒委員、谷委員、上嶋氏(有賀委員代理)、 金田委員、荒川委員 (欠席者) 櫻林委員、九川委員、島村委員、関本委員
事 務 局	福田係長、藤野 株式会社ダイナックス都市環境研究所 北本、江沢
傍 聴 者	なし
会 議 次 第	区挨拶、金田委員自己紹介 1. 報告事項 (1) 委員の交代について (2) 段ボールコンポスト懇談会&ミニポット園芸教室 開催報告 (3) 芝浦運河まつりリユース食器貸出事業 実施報告 (4) みなと区民まつり3Rブース出展報告 (5) みなと区民まつりリユース食器PRプロジェクト 実施報告 (6) みんなと3Rパネル展示会 開催報告 (7) 3Rワークショップ 開催報告 (8) ホームページ閲覧状況とSNS更新回数 (9) 参考 割りばしリサイクル実績報告 2. 意見交換 ・事業者向け紙ごみ削減セミナー 企画(案) ・エコ料理教室 企画(案) ・リサイクル施設バス見学会 企画(案) ・リユース♡ブリッジ 企画(案) ・3R推進行動計画改定スケジュール(案)
配 付 資 料	[事前配付] 資料1 平成28年度港区3R推進行動会議委員名簿 資料2 段ボールコンポスト懇談会&ミニポット園芸教室 開催報告 資料3 芝浦運河まつりリユース食器貸出事業 実施報告 資料4 みなと区民まつり3Rブース出展報告 資料5 みなと区民まつりリユース食器PRプロジェクト 実施報告 資料6 みんなと3Rパネル展示会 開催報告 資料7 3Rワークショップ 開催報告 資料8 「みんなと3R」ホームページ閲覧状況とSNS更新回数

主な発言・報告内容**●港区あいさつ**

今年度は、大雨の中「みなと区民まつり 2016」が実施され、また3Rグッズのワークショップでは、事前申込みを行わず誰でも参加できるという新しい方法で実施した。当日ご協力いただいた委員の方々、本当にありがとうございました。

今後は、3R推進行動計計画の改定も控えていますので、引き続きよろしく願いいたします。

1 報告事項**(1) 委員の交代について****●事務局からの説明**

芝地区総合支所協働推進課の太田課長に代わり、10月19日付で金田課長が着任。委員として参画する。

(2) 段ボールコンポスト懇談会&ミニポット園芸教室 開催報告**●事務局からの説明**

港区では家庭でできる生ごみの減量方法として、段ボールコンポストを紹介している。今年度は一般向けとして5～6月に前講座を9回、7月に親子向け段ボールコンポスト講習会を開催した。

今年度も講座に参加した方や前講座でキットを購入した方を対象に、段ボールコンポストの取組みや感想などを意見交換していただき、やりがいや3Rの大切さ等の意見交換をした。参加者は6組10名であった。

第二部は講習会に参加されていない区民を交えて、ミニポット園芸等について実演しながら実施した。15名が参加した。

ただ、ミニポット園芸教室で使用したサンチェレタスについては、講習会の前々日に清掃事務所に納品されたが、清掃事務所での苗の温度管理に問題があり、園芸教室当日には元気がなくなってしまい、参加人数分の苗を準備できなかった。そのため、足りない分は、段ボールコンポストサポーターが持参していた「種」を植え付けることで対応をした。

今後、同様の講習会を開催する場合には、苗等の管理には気を付けることを反省点として報告する。

●主な発言

- ・ 段ボールコンポスト懇談会では、夏休みの自由研究と、調理や食品管理に役立ったという感想があった。子どもと大人のどちらの世代にも楽しんでもらえた。(委員)

- ・ ミニポット園芸教室で植えたレタスは、自宅に帰ったらすぐ枯れてしまったので残念だった。(委員)
- ・ ミニポット園芸教室の講演は、初めて知ることばかりでとても興味深かった。(委員)
- ・ 園芸教室で使用する苗は、前日納品にした方が安心である。また、レタスよりもハーブなどの方が園芸教室には向いている。今回のような事態も想定して、代替案も用意しておくのが良い。(委員)

(3) 芝浦運河まつりリユース食器貸出事業 実施報告

●事務局からの説明

芝浦運河まつりでは平成19年度からリユース食器を利用し、イベントでの紙皿等のごみ減量に取り組んでいる。本年度もリユース食器の利用支援を行うことで、イベントで発生する紙ごみの減量に取り組むとともに、多くの方にリユース食器の啓発することができた。

食器の貸出し予定枚数は1,500枚であったが、当日になって急ぎょ使用を取りやめた店が3店舗あったため、実際の貸出し枚数は800枚であった。

●主な発言

- ・ 当日、使用しなかった3店舗は、自前で別の食器を準備したのか。(座長)
→その通り。(事務局)

(4) みなと区民まつり3Rブース 出展報告

(5) みなと区民まつりリユース食器PRプロジェクト 実施報告

●事務局からの説明

本年度は2日間とも降雨の中、約18万人が訪れたみなと区民まつりに、今年度も「港区3R推進行動会議」のブースを出展し、3RについてPRを行った。

「港区3R推進行動会議」ブースは、隣にある「みなとリサイクル清掃事務所」ブースと連結させて3R活動についてのクイズを行い、回答者にはガラポンを回して3Rに関する景品をプレゼントして3Rの大切さをPRした。2日間で1,484人がクイズ、ガラポンに参加した。

また、平成21年度より区内の大学生とプロジェクトチームを結成し、みなと区民まつりにリユース食器を導入し、紙皿等のごみを減らす活動を行ってきた。

今年度も明治学院大学、戸板女子短期大学、北里大学の3大学の学生ボランティアに協力頂き、みなと区民まつりで1,950枚のリユース食器を飲食店店舗に貸出した。更に、リユース食器使用店PRのチラシを挟み込んだメモ帳の配布や、各店舗看板の作成、リユース食器を回収するテントでリユースとエコルの人形劇を行い、見てくれた方に水切りネットや石鹸、おもちゃをプレゼントする等、3Rを積極的にPRした。

学生ボランティアは、1日目15人、2日目13人であった。

●主な発言

- ・ 初日の午前中にボランティアとして参加したが、大雨の中ブース内の動線がわかりづらく、混雑した印象があった。(委員)
- ・ テーマは絞った方が良い。パネルもA1サイズなどの大きいサイズにして、文字を大きくする。(委員)
- ・ クイズも3択でなくシンプルに2択にすることで、何を伝えたいのかを分かりやすくすることができる。(委員)
- ・ 配布チラシを用意していたが、クイズに夢中であまり目を通してもらえてはいなかった。(委員)
- ・ レジ袋300枚の展示は目を引いていた。(委員)
- ・ ガラポン目的の来場者が多いので、動線の確保が必須。展示物は前面に出して、ガラポンの通路を確保するなどの工夫が必要。今回の混雑は、天候による影響が大きい。(委員)
- ・ ガラポンの景品は良かった。来場者からはフードドライブについての説明も多かった。(委員)
- ・ 学生ボランティアを含め、スタッフの人員配置をバランスよくした方が良い。時間帯によって人員が足りない、多すぎるなどあった。(委員)
→学生はリユース食器をメインに活動してもらったので、時間が偏ってしまった。(事務局)
- ・ パネルや説明だけでなく、レジ袋300枚の実物展示は良いアイデア。触れると実感がわきやすい。(座長)
- ・ 協力した学生ボランティアは、どのような感想を持っていたか。(座長)
→充実感が得られたようだ。ただ、初日の午前中は大雨で、雨具を着用していたが濡れてしまったため、大学生ボランティアは急きょ早めの解散という対応をした。(事務局)

(6) みんなと3Rパネル展示会 開催報告

●事務局からの説明

再生資源利用促進法が平成3年10月に施行されたことから、国が毎年10月を3R推進月間としており、港区3R推進行動会議では3R推進月間に合わせて、毎年3Rに関するパネル展示会を開催している。

今年度は、来場者の多いみなとパーク芝浦の1・2階ロビーを利用して、区内で3Rに取り組む24の企業・団体の活動や港区3R推進行動会議の取組みを紹介することで、より多くの方にごみの減量とリサイクルの重要性を知っていただく機会とした。

●主な発言

- ・ 今年新しく展示に参加した企業・団体は、区から声をかけたのか。(座長)
→その通り。案内を送付して、取組みに理解をいただいた企業等に出展してもらった。(事務局)
- ・ 今年度から会場が変わったが、スペースの確保はできたのか。(座長)
→スペース確保は充分できた。ただ、1階と2階の展示は分断されていたので、2階の展示は、2階に用事のある人しか見てもらえなかった。(事務局)
- ・ 搬入や設置は、各企業・団体が自分たちで行ったのか。(座長)
→その通り。設置時間を設けて来場してもらった。(事務局)

(7) 3Rワークショップ 開催報告

●事務局からの説明

港区3R推進行動会議では、楽しく3Rを学んでいただくために、段ボールコンポスト講習会や古着の交換会などを実施している。そこで、3R推進月間に合わせ、2つのワークショップで楽しく3Rを紹介し、体験していただくイベントを開催した。

一つ目のワークショップは、段ボールをリサイクルしたノートづくりと、牛乳パックを羽にした竹とんぼ「牛乳パックとんぼ」づくりを行った。段ボールのデザインを活かした個性あふれるノートや、幼児でも簡単に遊べる牛乳パックとんぼが完成した。

二つ目のワークショップは、エコバックやティッシュカバーなど、暮らしに役立つふるしきの活用術を行った。参加者からは、家庭に眠っているふるしきも活用できると、喜びの声が聞かれた。

二つのワークショップに、合計29人が参加した。

●主な発言

- ・ 牛乳パックとんぼとは、どのようなものか。(委員)
→牛乳パックを羽に、ストローを軸にした、竹とんぼのようなもの。簡単に作れるので、子どもたちも楽しんで遊んでいた。(事務局)
- ・ リユースふるしきは初めて作ったのか。お洒落なデザインで素敵。ガラポン商品やイベントの啓発品としても活用してほしい。(委員)
→ふるしきは今回初めて作った。今後の活用を検討したい。(事務局)

(8) ホームページ閲覧状況と SNS 更新回数

●事務局からの説明

3Rの認知度向上を目的とし、イベントの告知や開催報告だけでなく、3Rに関する取組みに親しみを持ってもらえるような内容を紹介している。

今回からフェイスブックの「リーチ数」と「投稿クリック数」についての記載を追加し、

どのくらいの人へ SNS の情報が拡散しているかと、どの程度の人がその詳細を見たかについての値を掲載した。Twitter では、8～10月の3か月間でフォロワー数の合計が1,502に達し、Facebook ではイベントの多かった10月のリーチ数が1,018であった。

●主な発言

- ・ SNS 広報に学生を巻き込んでいるのは、効果が大きい。(座長)
- ・ 学生のリレー投稿は良いアイデア。リーチ数や投稿クリック数も出たので、分かりやすくなった。引き続き取組んでほしい。(委員)

(9) 参考 割りばしリサイクル実績報告

●事務局からの説明

本年度は、6月から11月にかけて、5つのイベントで割りばしのリサイクルを実施した。

秋は学園祭シーズンが多く、区内大学と連携して実施した。10月22、23日に実施した、北里大学 白金祭では1,000本以上の割りばしを回収した。割りばし6本でA1コピー用紙1枚にリサイクルさせるので、180枚程度のコピー用紙に生まれ変わった。

これから実施する戸板女子短期大学と東京海洋大学については、後日報告する。

●主な発言

なし

2 意見交換

●事務局からの説明

○事業者向け紙ごみ削減セミナー 企画(案)

昨年度まで、ごみ減量推進係と許可指導係が別々に紙ごみ削減セミナーを実施していたが、今年は内容を充実させて、合同で実施する。

○エコ料理教室 企画(案)

戸板女子短期大学食物栄養学科の教授を講師、学生をアシスタントとして実施する。食材を使いきることができ、また、栄養が豊富なメニューで実施する。

○リサイクル施設バス見学会 企画(案)

ごみ減量の意識を高めることを目的に、昨年度と同様、スターバックスコーヒージャパン株式会社のコーヒー豆かすをリサイクルする施設を見学する。

○リユース♡ブリッジ 企画(案)

今年度、第2回目の古着と本の交換会を実施する。今回は、事前申込み無しの定員50名とする。

○ 3 R 推進行動計画改定スケジュール（案）

12月中旬から来年3月にかけて、3R推進行動計画改定会議を全5回実施する。

● 主な発言

- ・ バス見学会の定員30名はすぐに埋まりそう。（座長）
- ・ バス見学会の実施にあたり、受け入れる側として、参加者に喜んでもらえるよう、準備を進めている。（委員）

3 その他

● 第1回3R推進行動計画改定会議

日程調整の結果、12月13日（火）10時から開催する。

● 第4回港区3R推進行動会議

日程調整の結果、平成29年3月15日（水）14時から17時に、第5回3R推進行動計画改定会議と同時開催とする。